

■直木三十五 小説家。大衆流行作家の地位を確立した直後に結核で早世、マスコミから“侍の斬り死”に喩えられた。

なおきさんじゅうご

足尾鉦毒始・1891＝ 大阪市南区で、奈良の代々庄屋出身の古物商植村惣八の長男に生まれる。母はしづ。本名植村宗一。

病弱で小心であったが、

日清戦争始・1894＝ 3歳：

白馬会・・・1896＝ 5歳：市立桃園尋常小学校幼稚園に入園し、

八幡製鉄始・1897＝ 6歳：市立桃園尋常小学校に入学、

成績は優秀で、

ピア/国産化・1900＝ 9歳：

田中正造直訴1901＝10歳：弟清二が誕生。市立育英第一高等小学校に進み、

日露戦争始・1904＝13歳：3年で府立天王寺中学校を受験するもさすがに入れなかったが、腸チフス罹患後、すっかり健康になり、

日露戦争終・1905＝14歳：卒業して、大阪府立市岡中学校に入学。しかし、成績はみるみる悪くなり、

学内でさまざまな問題を起こしては、保証人になってくれていた薄病院長を悩ませ、

伊藤博文暗殺1909＝18歳：

韓国併合・・・1910＝19歳：卒業し、岡山第六高等学校文科一部乙の受験に向かうも、親に内緒で放棄、佐々木雪子・仏子寿満を知り、

薬局でアルバイトして、徳子を知る。東京生活下調べのため、初上京後、奈良の尋常小学校で代用教員、

大逆事件判決1911＝20歳：早稲田大学英文科予科文芸科に入学、田端で友人と下宿、

明治天皇没・1912＝21歳：上京してきた寿満と牛込で同棲生活始めて、困窮始まり、父に無心してしのぎ、

大正政変・・・1913＝22歳：月謝のより安い高等師範科に転じるも、納入できず、除籍となるも、そのまま授業は受け続け、

21ヶ条要求・1915＝24歳：同級生卒業の際、仲間の協力で、記念撮影写真に納まって、ひとまず両親を安心させる。

民本主義・・・1916＝25歳：長女木の実が誕生。寿満が読売新聞記者となるも、すぐに退社。貧乏極点に達し、借金生活に陥る。

ロシア革命・1917＝26歳：日本薬剤師会の書記になるも、すぐに辞め、新興美術社に勤務、初めて編集に従事し(新興美術)に執筆。

本格政党内閣1918＝27歳：麹町に転居。神田豊穂らと(杜翁全集刊行会(春秋社))、鷲尾浩と(冬夏社)を興し、共同経営。

ベルリン条約・1919＝28歳：寿満を入籍。矢野橋村らと雑誌(主潮)創刊、毎号評論を執筆。{春秋社}{冬夏社}を分離し鷲尾浩と決別。

大暴落・・・1920＝29歳：長男昂生が誕生。菊池寛・芥川竜之介・宇野浩二らを誘って大阪に講演旅行、以後、菊池とは刎頸の友。

原敬首相暗殺1921＝30歳：久米正雄・里見淳・吉井勇らの(人間社)の経営引受け、(人間)に寄稿。直木三十一のペンネームで(時事新報)に評論を執筆。それぞれでユニークな企画をたてるなど事業欲盛んで、芸者遊びに没りながら、

水平社結成・1922＝31歳：香西織恵を知る。直木三十二と改称。(人間社)倒産。三上於菟吉出資で(元泉社)を興し他作家作品刊行。

関東大震災・1923＝32歳：震災を機に一家で大阪へもどり、額田に住む。直木三十三と改称。(文芸春秋)創刊され、文壇ゴシップ記事を書きまくって部数増大に貢献。プラトン社に勤めて、雑誌(苦楽)の編集に従い、

護憲三派圧勝1924＝33歳：\*三十三のまま、小説を書き始め、「心中きらゝ坂」を連載して注目され、他とあわせて「仇討十種」を刊行。

治安維持法・1925＝34歳：プラトン社を退社して、連合映画芸術家協会を設立、同志と大衆文学作家の親睦団体(二十一日会)結成。

円本時代始・1926＝35歳：\*ペンネームを三十五にし定着。(大衆文芸)創刊に参加、(文芸春秋){苦楽}に精力的に執筆、生活も安定。

金融恐慌・・・1927＝36歳：独立プロブームの支柱となるも、資金繰りに行き詰まり、連合映画芸術家協会を解散して、上京。

以後、執筆活動に専念、敵討物に傾倒したのを手始めに時代小説を手がけ、

世界恐慌・・・1929＝38歳：「由比根元大殺記」「仇討浄瑠璃坂」、

海軍軍縮条約1930＝39歳：「荒木又右衛門」などを発表。満州に渡る。薩摩藩のお由羅騒動を材に「南国太平記」連載始めるや大評判、

満州事変・・・1931＝40歳：満州での軍部との交流素材に、変名で未来小説「太平洋戦争」を連載。\*完結とともに、不動の地位をかためた。以後、猛烈なスピードで大量の作品を書きまくる、

五一五事件・1932＝41歳：軍部との交流問われると、読売新聞紙上で、一年間の“フェシスト宣言”。寿満と別居。母が死去。

国際連盟脱退1933＝42歳：寿満と離婚。真館はな子を紹介される。神奈川県富岡に新居完成するも、わずかな期間で、

帝人疑獄事件1934＝43歳：\*脊椎カリエスのため、帝大医院に入院、結核性脳膜炎で没した。

マスコミは侍の斬り死にたとえ、菊池寛によって直木賞が設けられた。